

中之島が誇る偉大な政治家を偲ぶ

大竹邸記念館



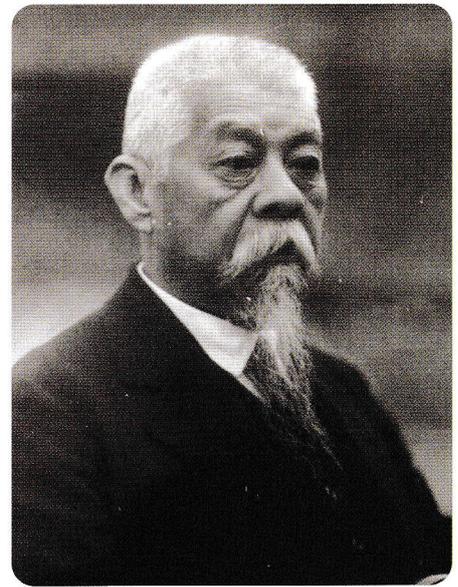
「憲政の神」として称えられている

偉大な政治家大竹貫一翁の遺徳を偲び、

顕彰するため、その遺品や盟友の書など、

大竹家代々の所蔵品等を展示しています。

《大竹邸記念館庭園》



小 伝

大竹貫一翁は、安政7(1860)年3月12日、新潟県南蒲原郡中之島村大字中之島(現長岡市中之島)で父・大竹英治(鳳羽)の六男として生まれた。

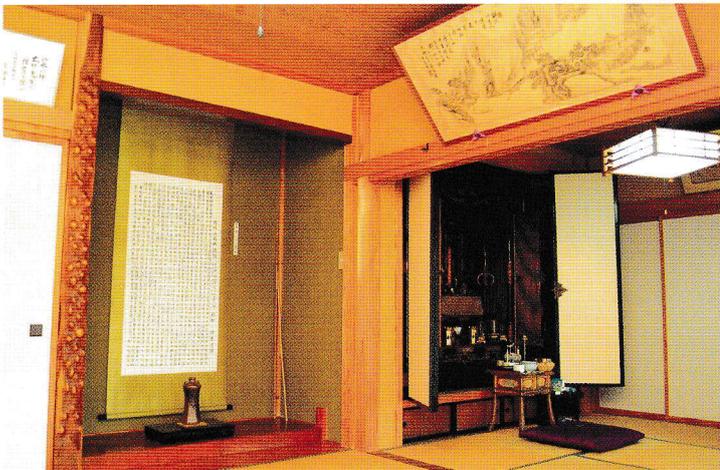
少年時代に若月元輔などから漢学を学んだ後、新潟英語学校に進み、土木工学を専攻して治水に関する知識を学ぶ。

明治13(1880)年に中之島村会議員に当選。以来通算32年間在職。同19(1886)年以降は、新潟県会議員を4年9カ月、さらに同27(1894)年に第3回総選挙で衆議院議員初当選後、16回の当選を果たした。昭和13(1938)年、貴族院勅選議員に任じられたが、翌年11月に辞退している。

こうした政治生活の間、国・県道の新設改良や、治水・利水に力を注いだ。刈谷田川を改修し、大堰を築いて用水としての利用を図る一方、信濃川の洪水から地域を守るためには大河津分水の建設が抜本的な解決策と考え、自ら資産を投じ、工事の進捗を図った。これにより、穀倉越後平野は水害の脅威から解放され、大きな恩恵を受けた。また、北海道に大農場を起こすなど殖産興業にも貢献した。これらの功績から、昭和15(1940)年に旭日重光章を受けている。

名誉や利益を求めず、信念を曲げず、常に国と郷土の発展のために尽くした姿勢は人々の信頼を集め、今も郷土の誇りとして語り継がれている。

昭和19(1944)年9月22日、85歳で亡くなった。



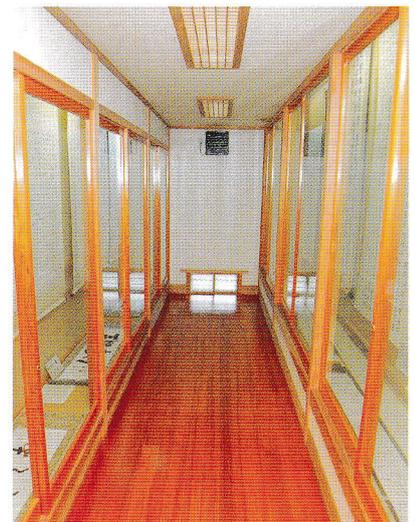
①仏間脇の部屋の床の間に、鈴木豹軒作、大竹貫一翁書の「ハワイ海戦大捷(大勝)の歌」の大幅(大きな掛け軸)。



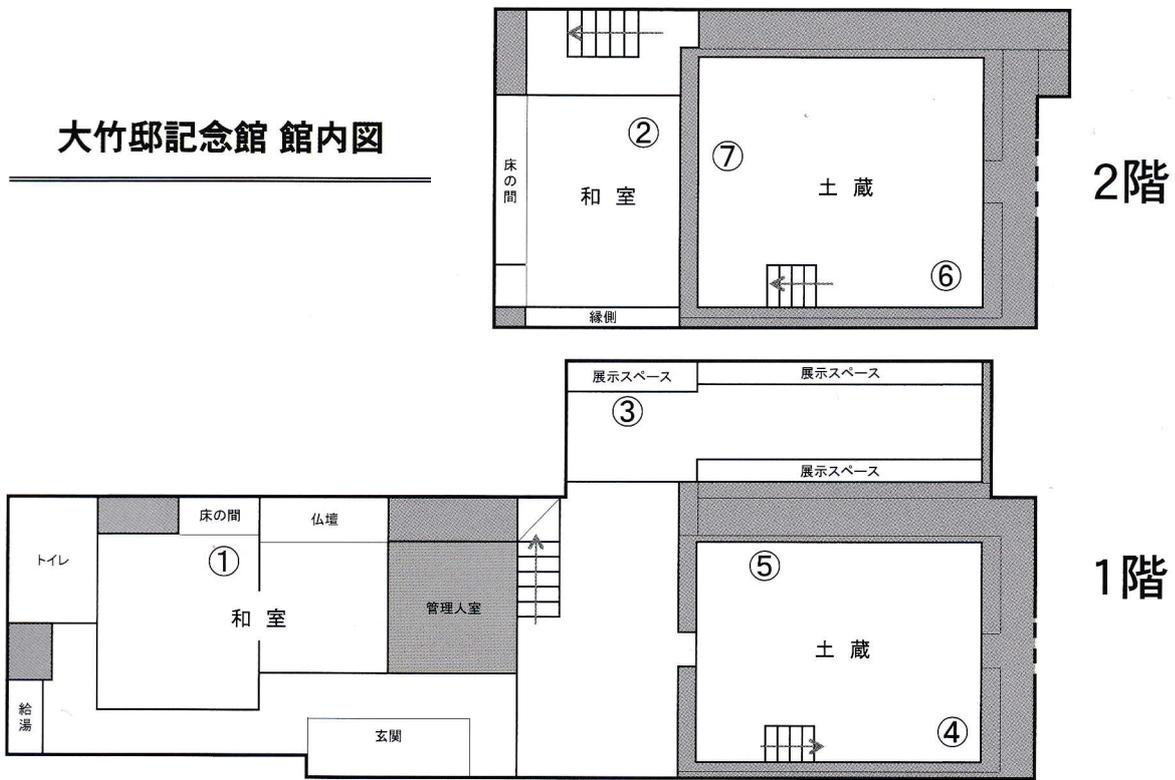
②大竹貫一翁終焉の部屋。部屋の中央に野沢如洋画伯の馬の大幅。床脇に平頼盛公直筆といわれる经文、平家一門家宝の愛刀小烏丸の模刀。



③肖像画、日比谷焼討事件同志の寄書、国会議員永年勤続の寄書、通路両脇には直筆の書、当時の名士の書など



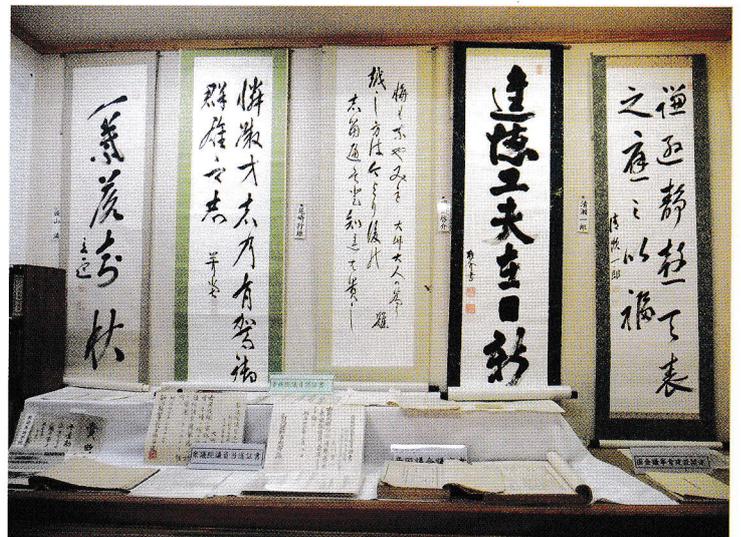
大竹邸記念館 館内図



※館内図中の①～⑦の番号は、パンフレット中①～⑦の展示場所を示しています。



④御両親の肖像画、父・鳳羽の辞世の歌、大竹家の古文書、手紙など



⑤盟友である頭山海、尾崎行雄、清瀬一郎の書、衆議院・貴族院議員バッジ、当選証書など



⑥愛用の筆や印章、印譜の軸物、山本五十六元帥の書簡など



⑦新潟県議会議長暴行事件で投獄のため護送された時に擦り切れたと伝えられている夏羽織、毛の外套、愛用の杖など

池 公 社



たいらのよりもり いけのぜんに たいらのきよもり
平頼盛公は池禪尼の子で、平清盛の異母弟。六波羅の池殿に住んだことから、池大納言と称された。

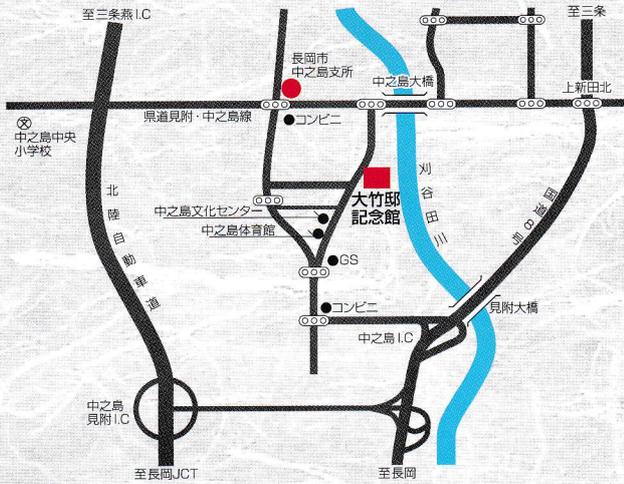
ほうげん
保元の乱で源氏が敗れた時、池禪尼が頼朝の命乞いをしたことから、頼朝は、平家滅亡の折、助けられた恩義に報いるため、頼盛公を助命した。

いんせい
頼盛公は、東北へ隠棲すべく重臣大竹与惣左衛門(大竹家先祖)以下郎党を連れ越後路へ下って来たが、五百かりむら
刈村の地に留まり、鋭意開拓に努め、安住の地とした、と伝えられる。

16年目の建保2(1214)年8月11日信濃川大洪水の際、老体のため避難できず溺死。行年83歳。

池公社は安永3(1774)年、大竹家27代住長が頼盛公の御像を据え、建立した。今の池公社は、天明9(1789)年に改造したもの。

交通のご案内



【バス】

- JR 長岡駅大手口 11 番線 東三条駅行、分水駅行、今町 5 丁目行、二番組町下車 徒歩 3 分

【車】

- 北陸自動車道中之島・見附 IC から 5 分

【JR】

- JR 見附駅よりタクシーで 10 分
- JR 長岡駅よりタクシーで 25 分

◆中之島観光ガイドのご案内(要予約)

中之島地域の名所や見所をお楽しみいただくため、観光ガイドがご案内させていただきます。

お問合せ先 / 中之島観光協会事務局(長岡市中之島支所産業建設課内)
TEL 0258-61-2013

◆開館日 / 毎月の第 1、第 3 金曜日
第 2 日曜日

◆時 間 / 午前 10 時から午後 3 時まで
(開館日以外は、事前にご連絡ください)

◆所在地 / 〒954-0124
長岡市中之島4-1

◆入館料 / 無料

◆お問合せ先 / 長岡市中之島支所地域振興課

〒954-0192 長岡市中之島788番地

TEL 0258-61-2010 FAX 0258-66-2238

[http:// www.city.nagaoka.niigata.jp/shisetsu/bunka/ohtake.html](http://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisetsu/bunka/ohtake.html)

E-mail: nkns-sm-chiiki@city.nagaoka.lg.jp